

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2020年11月6日
商工中金

最高水準の新型コロナウイルス感染症対策を実施し、 地域観光の活性化に取り組むホテル三日月グループ様を金融面からサポート

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業の皆さまが取り組む、産業構造の変革への挑戦を、関係機関と連携を取りながら、積極的にサポートしています。

商工中金（千葉支店）は、ホテル三日月グループ様3社（中核：株式会社勝浦ホテル三日月様、本社：千葉県勝浦市、代表者：小高 芳宗様）に対し、新型コロナウイルス感染症の予防に必要な設備資金等21億6,000万円を期間10年期限一括償還型の資本性劣後ローンで融資しました。

株式会社勝浦ホテル三日月様は、設立以来、スパ&リゾートホテルを展開し、全ての館で全天候型の温浴施設や地元食材を使った料理等が人気のホテルです。グループでは千葉県3拠点と栃木県にホテルを有し、地域観光の需要喚起のため、勝浦ウォーターアイランドの開催や日光東照宮の分霊社を建立する等、地域の賑わいづくりに尽力しています。また、ベトナム国ダナン市に「日本文化の発信基地」として、日系企業最大投資である、5スターホテルと複合スパリゾート施設を建築中であり、木更津市とダナン市の友好協力関係の構築にも貢献しています。

同グループは、政府の要請に基づき国内で初めて武漢帰国者を受け入れました。一方で、2度に渡って全館休館を余儀なくされましたが、地元医療機関と連携し全社員がコロナ対策講習を受講、宿泊者が安心して滞在できるよう、最高水準の防疫体制「三日月 STANDARD」を構築するなど、万全な体制を整えました。

商工中金は、同グループの取り組みを定期的にフォローするとともに、事業性評価を通じて共有した経営計画をブラッシュアップし、コロナ渦中の本年5月に民間金融機関と協調して総額27億5,000万円のシンジケートローンを組成しました。今回、新型コロナの影響を受けた地域経済の再興のためには、同グループの安定した事業継続が不可避と考え、資本性劣後ローンを提供することで財務基盤の拡充と金融取引体制の強化をサポートしています。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、地域金融機関や関係機関と連携してサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります。

【中核：株式会社勝浦ホテル三日月様の概要】

所在地	千葉県勝浦市墨名 820
代表者	小高 芳宗様
資本金	1,000万円
従業員数	575名（2020年10月現在）
設立	1961年11月
業種	ホテル業



【建築中のベトナムダナンプロジェクト全景】